

令和3年(2021)

8月28日(土)

～10月3日(日)

きのくにの宗教美術

―神仏のさまざまな姿―

■閉館時間 9時30分～17時
(入館は16時30分まで)

■休館日 毎週月曜日
(ただし9月20日(月・祝)は閉館、
9月21日(火)は休館)

■駐車場 展示室入場者は最初の2時間無料、
以後30分ごとに100円

■入館料 一般280円(230円)・大学生170円(140円)
※()内は20人以上の団体料金
※高校生以下、65歳以上、障害者手帳の交付を受けて
いる方、県内に在学中の外国人留学生は無料
※9月5日、10月3日(第1日曜日)は無料

 和歌山県立博物館
<http://www.hakubutu.wakayama-c.ed.jp>
〒640-8197 和歌山県吹上1-4-14 TEL.073-436-8670 FAX.073-423-2467
WAKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM
― 和歌山城・南側 ―

一字金輪曼荼羅(部分、鎌倉～南北朝時代、霊現寺)

企画展 きのくにの宗教美術 —神仏のさまざまな姿—

和歌山県には、高野山や熊野三山、西国三十三所霊場など、全国から多数の参詣者を集める大寺社が点在します。そして紀伊半島をぐるりと巡る広い県域に所在する各地の集落には、住民が幾世代にもわたって信仰拠点としてきた寺社や堂祠が多数継承されています。それらの信仰の場には、祈りの対象としての仏像や神像、あるいは仏の姿を描いた仏画が、数多く伝わっています。

創立五〇周年を迎えた和歌山県立博物館ではこれまで、国宝・重要文化財など周知の文化財の普及に努めるとともに、県内各地の寺社・堂祠の文化財調査を積極的に行い、新たな資料の把握とその公開、そして情報の共

有化に努めてきました。

この企画展では、そうした近年の調査活動のなかで新たに確認された優れた宗教美術の数々を、「弘法大師と密教の仏」「仏の群像」「山の神仏、港の神仏」「海を渡って仏は来たれり」の各章に分けて公開し、祈りの力で作られ守られた神仏のさまざまな姿とその豊かな魅力をご紹介します。

かけがえのない文化財を未来へと継承していく上で、この企画展が、地域の歴史と文化の新たな魅力を発見するための一助となりましたら幸いです。



① 宝冠釈迦如来坐像（室町時代、大崎観音堂）、② 伽藍神坐像 ③ 達磨坐像（天文10年〔1541〕、大崎観音堂）、④ 龍華会図（朝鮮・隆慶2年〔1568〕、如意輪寺）、⑤ 弘法大師像（鎌倉時代、如意輪寺）、⑥ 御遺告大事（明和7年〔1770〕、青巖寺）、⑦ 十一面観音立像（平安～鎌倉時代、平見観音堂）、⑧ 鉄製丸瓦（中国（明）・正徳年製〔1506-21〕、道成寺）